

令和6年度学習力サポートテストの結果に基づく授業改善に向けた取組について

- ☞ 児童・生徒の基礎的・基本的な学習内容の定着状況と問題解決能力等を把握し、児童・生徒の学習の動機付けにつなげる個に応じた指導の充実と教員の指導力向上のため、区独自のテストを実施し、その活用を図っていく。

1 実施内容

前年度の学年で履修した内容のうち、各教科の基礎的・基本的事項及びその活用に関する領域別・観点別の学習状況についての調査、児童・生徒の生活及び学習に関する意識調査を行った。

(1) 実施日 小・中学校 令和6年5月2日(木)

宇佐美学園 令和6年5月8日(水)

(2) 対象学年・教科

小学校		中学校	
第4学年	国語、社会、算数、理科、意識調査	第1学年	国語、社会、数学、理科、英語、意識調査
第5学年		第2学年	
第6学年	国語、社会、算数、理科、英語、意識調査	第3学年	

2 正答率と今後の授業改善の取組例等について

- (1) 学年・教科別平均正答率及びそれらを踏まえた授業改善の取組例
(2) 意識調査結果(一部抜粋)

※詳細は別紙のとおり

3 テスト結果の活用

- (1) 学習力サポートテストの結果の個人票を、学校を通じて夏季休業日前までに本人及び保護者に配布し、一人一人の課題を明らかにするとともに、本人及び家庭における学習への取組を支援する。
(2) 各学校において、学習力サポートテストの結果分析を基に、2学期以降の授業に反映させるとともに、個に応じた指導の充実を図っている。

令和6年度学習力サポートテストの結果に基づく授業改善に向けた取組について

1 目 的

児童・生徒の基礎的・基本的な学習内容の定着状況と問題解決能力等を把握し、児童・生徒の学習の動機付けにつなげる個に応じた指導の充実と教員の指導力向上のため、区独自のテストを実施し、その活用を図っていく。

2 実施概要

前年度の学年で履修した内容のうち、各教科の基礎的・基本的事項及びその活用に関する領域別・観点別の学習状況についての調査、児童・生徒の生活及び学習に関する意識調査を行った。

(1) 実施日 小・中学校 令和6年5月2日(木)

宇佐美学園 令和6年5月8日(水)

(2) 対象学年・教科等

小学校 第4・5学年 国語、社会、算数、理科、意識調査
第6学年 国語、社会、算数、理科、英語、意識調査
中学校 全学年 国語、社会、数学、理科、英語、意識調査

(3) 実施児童・生徒数

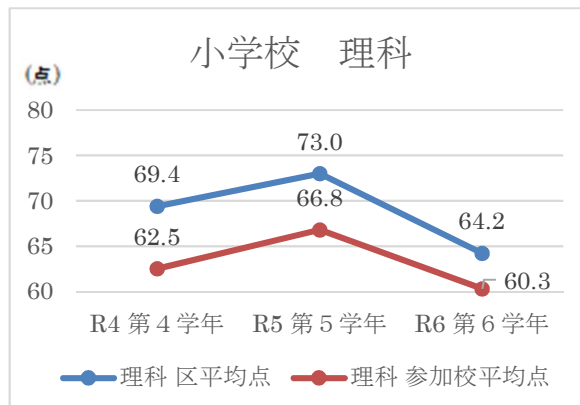
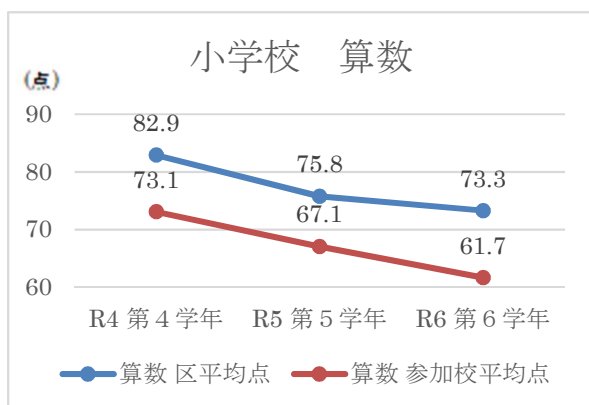
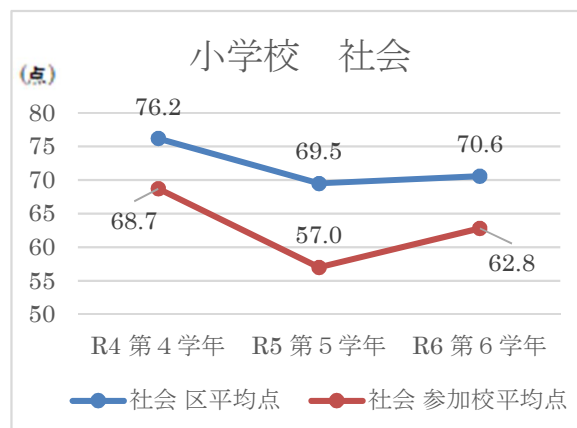
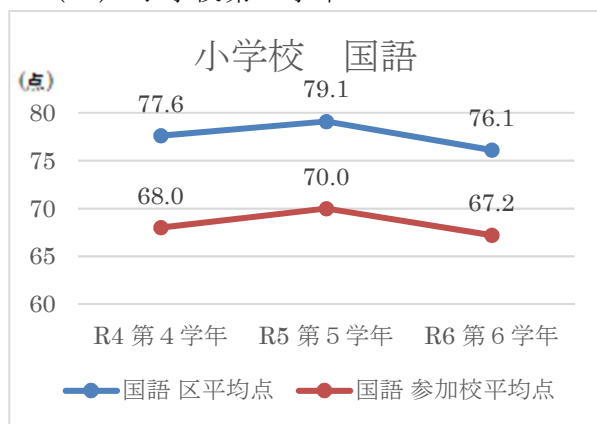
小学校	実施児童数	中学校	実施生徒数
第4学年	1, 498名	第1学年	582名
第5学年	1, 355名	第2学年	540名
第6学年	1, 293名	第3学年	548名
計	4, 146名	計	1, 670名

3 テスト結果の活用

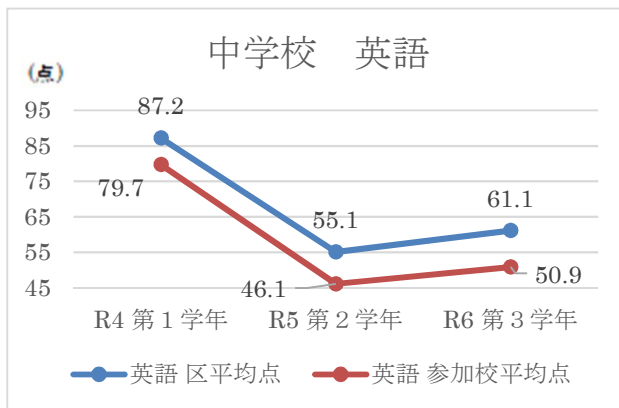
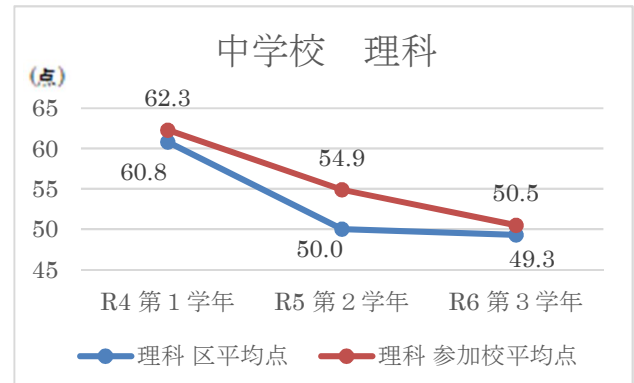
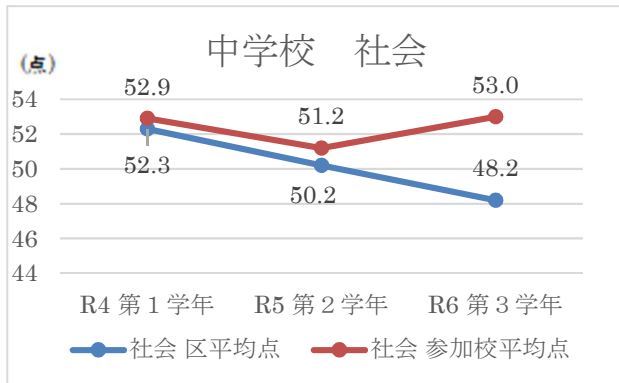
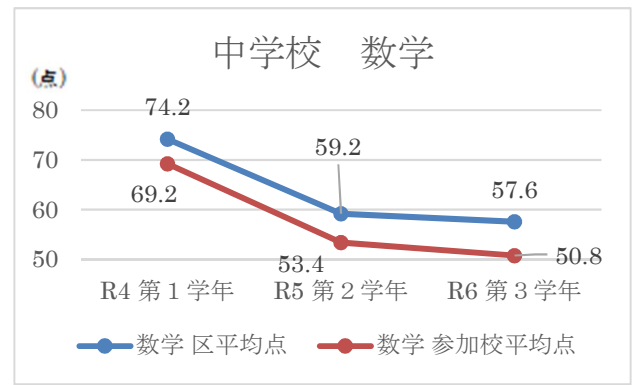
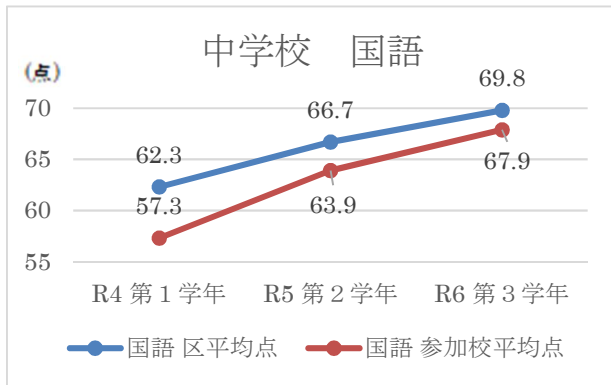
- (1) 学習力サポートテストの結果の個人票を、学校を通じて夏季休業日前までに本人及び保護者に配布し、一人一人の課題を明らかにするとともに、本人及び家庭における学習への取組を支援する。
- (2) 各学校において、学習力サポートテストの結果分析を基に、2学期以降の授業に反映させるとともに、個に応じた指導の充実を図る。

4 同一集団の経年変化の比較

(1) 小学校第6学年



(2) 中学校第3学年



5 実施結果（3年間の経年変化）の分析について

(1) 小学校

- 算数は、経年比較した際に区の平均が参加校平均よりも高く、年々差が開いていることから、習熟度が高まっていることが分かる。
- 社会や理科は、区の平均が参加校より上回っているが、参加校平均との差が縮まってきている。
 - ・社会では、地図や資料を読み取り、まとめる活動を積むことが必要である。
 - ・理科では、実験を行う単元において、実験器具を扱う機会を増やす、条件整理を行い、実験結果を分類・整理する経験を多く設定させていくなど、授業改善を図っていく。

(2) 中学校

- 理科は、区の平均が参加校より下回っているが、参加校平均との差が年々縮まってきている。
 - ・「水溶液」「化学変化とイオン」の出題においては、誤答や無回答の割合が高く、知識や理解が十分に定着していない結果となった。科学的な言葉や概念を使用して、考えたり、説明したりする学習活動に繰り返し取り組ませる必要がある。
- 社会は、区の平均が参加校より下回っており、参加校平均との差が広がっている。
 - ・地理分野の正答率が低い傾向がある。地形や世界各地の人々の生活について、個々の特徴を覚えるのではなく、それぞれの関係性を結び付けられるような学習を展開し、深い理解に結び付けるなどの授業改善が必要である。

6 意識調査（一部抜粋）

（１）小学校

【学習意欲】

あなたは、授業や普段の生活の中で、不思議だな、どうしてだろう、と思ったことを調べていますか。

学年	第４学年	第５学年	第６学年
区 肯定率	61.4%	54.6%	60.2%
全国 肯定率	58.2%	51.2%	50.6%
差	+3.2%	+3.4%	+9.6%

肯定率・・・「いつも調べている」「大体調べている」と回答した児童の割合

【生活習慣】

朝食は毎日食べていますか。

学年	第４学年	第５学年	第６学年
区 肯定率	90.9%	91.6%	89.7%
全国 肯定率	90.9%	90.1%	89.4%
差	±0%	+1.5%	+0.3%

肯定率・・・「毎日しっかり食べている」「毎日何か口に入れる程度」と回答した児童の割合

【発信力】

あなたは、学校生活の中で発言をするとき、他の人と同じ意見だった場合でも、自分なりに考えて発言していますか。

学年	第４学年	第５学年	第６学年
区 肯定率	53.8%	55.5%	55.5%
全国 肯定率	52.0%	51.7%	51.1%
差	+1.8%	+3.8%	+4.4%

肯定率・・・「いつもそうしている」「だいたいそうしている」と回答した児童の割合

(2) 中学校

【学習意欲】

あなたは、授業や日常生活の中で、不思議だな、どうしてだろう、と思ったことを調べていますか。

学年	第1学年	第2学年	第3学年
区 肯定率	52.9%	52.6%	64.2%
全国 肯定率	48.3%	48.0%	54.2%
差	+4.6%	+4.6%	+10.0%

肯定率…学校の勉強について、「いつも調べている」「だいたい調べている」と回答した生徒の割合

【生活習慣】

朝食は毎日食べていますか。

学年	第1学年	第2学年	第3学年
区 肯定率	84.5%	84.9%	84.1%
全国 肯定率	87.9%	87.0%	86.7%
差	-3.4%	-2.1%	-2.6%

肯定率…「毎日しっかり食べている」「毎日何か口に入れる程度」と回答した児童の割合

【発信力】

あなたは、学校生活の中で発言をするとき、他の人と同じ意見だった場合でも、自分なりに考えて発言していますか。

学年	第1学年	第2学年	第3学年
区 肯定率	59.5%	61.3%	66.1%
全国 肯定率	52.7%	53.3%	57.1%
差	+6.8%	+8.0%	+9.0%

肯定率…「いつもそうしている」「だいたいそうしている」と回答した児童の割合

※数値は小数第二位を四捨五入している。